

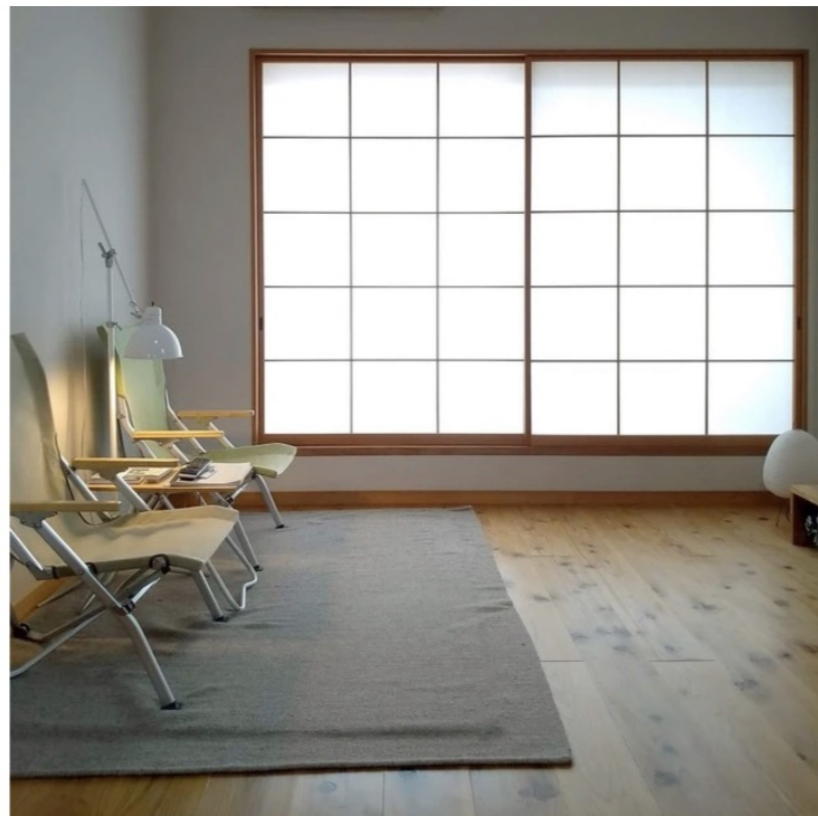
▼10年後



▽完成時



▼10年後



▽完成時



▼完成時 (10年前)



▼10年後



= 杉の床の暮らし (一番簡単な本物の木の家) = 志田建築設計事務所 東京都・中野区

s-coco.net

新品の時は、神聖な感じがします。板は「源平(げんべい)」といい、赤い部分の多い木と白い部分の多い木が混ざっています。節あり材です。

板の色は1年くらいで変わり始めます。木の節も、写真で見るほどには、実際は気になりません。個人的な感覚によりますから「絶対に」とは言えませんが。。

10年経てば、色の違いも節の存在も、ほぼ気にならなくなります。  
(10年もたたずにそんな感じにはなりません)

寿の家 1F床材

杉板フローリング厚さ30ミリ  
(丸岡材木店さん→から購入)  
・誠実な感じで個人的に信頼  
→乾燥や加工など仕事に通ず



杉厚板フローリング (30mm・35mm)  
www.maruoka-zaimoku.com

## 【参考】

### 杉板の手入れ



= 杉の床の暮らし (一番簡単な本物の木の家) = 志田建築設計事務所  
所 東京都・中野区  
s-coco.net

この10年、どんなふうに入手入れをしていたか聞くと・・・

「最初は頑張って1年に1回とかワックス塗ったけど、2～3年かな。。あとはほったらかし(笑)」

だそうです。

床にオイル掛けを1年後ごとにしないといけないという人がいます。

まったく塗る必要がないという人もいます。

どちらも、いい悪いはありません。

「木が自然に色が変わり肌触りが変わっていけばいい」と思えば、塗らなくていいです。

「いつまでもしっとり感が欲しい」と思うなら、毎年ぬればいいです。

木の種類や環境によっても違うので、何が正しいというのはありません。

最初塗らなくて、だんだんカサついてきたので心配だから塗るというもありです。

私は、毎年ではなくても2年に1回くらい塗ってもらえれば・・・とっていました。

でも今はそうではなくて・・・この風樂房(ふうらいぼう)の施主のように

最初3年くらいは1年に1回塗って、あとは、気になった時にやればいいんじゃないか、と思っています。

木は、最初、環境になじむために頑張っています。だからその時期は気遣ってあげてください。

3年もすればなじむから、ほっといてもいいかなと思います。

ただし

無垢の木を使うというのは、時々を「気にしてあげる」事が必要です。

家族と同じように、時々様子を見てあげてください。

日が当たり過ぎる場所だと表面が乾燥しすぎ油分がなくなり、よごれが付きやすくなる事もあります。

表面が収縮して割れたりむけてしまう事もあります。

そんな時は表面にサンドペーパーを掛けてなめらかにしたり、カッターで削りとってしまいましょう。

多少凹むでしょうけど、厚さ分全部1枚の木ですからほんのわずか削られても大丈夫です。

そして、凹んだり色が変わっても、あまり気にしない事です。

もっとも、その頃にはすでに、小さな事は気にならなくなっていますが。

(気にしても追いつかない、というのが本当ですが。。)

無垢の木をつかったからといって、手入れをきっちりがんばらなくても大丈夫です。

掃除機でも箒(ほうき)でも、どちらでも平気です。

水拭きは、「表面が毛羽だつからあまりよくない」とも言われますが、よくしぼった雑巾で水拭きした後の床が、また気持ちいいのです。

それを味わうためにやってもいいと思います。

心配せずに、気楽に考え、杉を・・・ お好きな木を・・・ ぜひ 床として採用してください。

無垢の木の床にする効果は、とっても大きいからです。